

高線量モニタリングポスト 1 台の指示値の欠測について

< 概要 >

(事象の発生状況)

- ・平成 20 年 5 月 2 日、発電所敷地周辺の環境放射能測定装置のうち、高線量モニタリングポスト*¹ 1 台が故障し、約 4 時間欠測しました。

(調査結果・推定原因)

- ・当該モニタリングポスト内の電源基板の不良によるものと推定しました。

(対策)

- ・当該基板を交換し、モニタリングポストの健全性を確認しました。

(安全性、外部への影響)

- ・他のモニタの指示値を確認した結果、外部への放射能の影響はないものと判断しております。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 20 年 5 月 2 日午後 4 時 37 分、1・2 号機中央制御室において、発電所敷地周辺に 8 台ある高線量モニタリングポストのうち、1 台(No. 4 モニタリングポスト)の指示値の欠測を示す警報が発生しました。

2. 調査結果・推定原因

当該モニタリングポストを確認したところ、電源回路のヒューズが切れていることがわかりました。

その後の調査において、当該モニタリングポストの電源回路の基板に故障が認められたことから、指示値の欠測は当該基板の不良によるものと推定しました。

当該基板の不良の原因は、偶発的に発生した故障によるものと推定しております。

3. 対策

当該基板を取り替えるとともに、同日午後 8 時 30 分、当該モニタリングポストが復旧したことを確認しました。

4. 安全性、外部への影響

当該モニタリングポストの指示値が欠測している間、当該モニタリングポストを除く 7 台の高線量モニタリングポストならびに、8 台すべて

の低線量モニタリングポストの指示値に有意な変動はなく、各排気筒モニタ*²の指示値にも異常はありませんでした。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

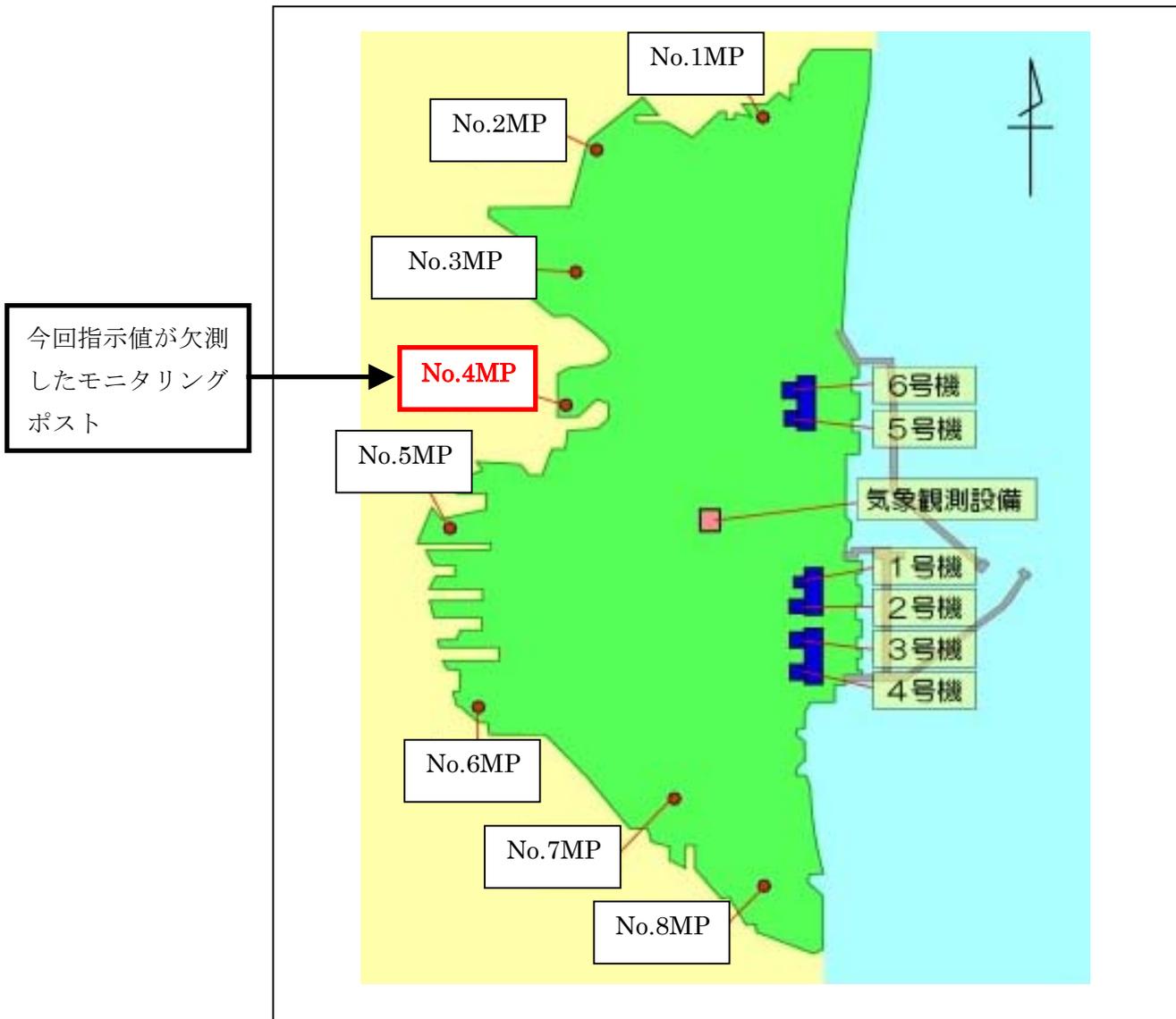
以 上

*** 1 モニタリングポスト**

発電所敷地周辺の8箇所に、それぞれの箇所ごとに低線量用と高線量用の2種類が2台一式で設置され、空間線量率を測定している。

*** 2 排気筒モニタ**

建物内の空気や復水器を真空にしておくための排ガスが環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。



MP : モニタリングポスト

モニタリングポスト配置図